

日本共産党
流山深井後援会

ニュースあすなる

15年7月15日
第197号
発行責任者
菊池 伍郎
TEL/FAX
7154-0526
(部内資料)

「強行採決許すな」抗議6万人

15日午後、衆院安保法 法案を強行採決し、特別委員会、「戦争」た。国民の理解が進み、対の声が高まり、安倍政権の支持率が低下の一途を辿る中で強行です。なんとしてもアメリカとの約束を守りたいのではありません。アメリカでは軍縮が決まり、その身代わりを日本の自衛隊にさせようというのでしょうか。国民を欺き若者を戦場へ送る。

声をあげ続けよう

国会へ押し寄せる抗議の人々。高齢者は「孫を子供連れの母親達は「子供の未来に戦争する国を残さない」と。また青年は「戦争するために生まれたんじゃない」と怒りの声が続きます。強行採決されたこの日、終日の抗議行動は夜中まで続きました。押し寄せた人

数6万人です。衆議院で強行採決したからと言って、これらの運動が終わるわけではありませぬ。より一層、反対の声が国会を取り巻き、安倍政権を許さないと声が上がっていくでしょう。

参議院議員に抗議

今後は参議院で審議が始まります。議員への働きかけ、メール・ファックス・電話・はがきなどあらゆる方法で抗議をしましょう。

「国民はすぐ忘れるから」なんと国民を愚弄する言葉でしょう。未来に戦争する国残さない闘いはまだ始まったばかりです。一人でも多くの方があきらめないで声をあげ続けることが、廃案へ繋がります。

7月11日 最初から最後まで、怒りの爆発が続いた6月議会が、8日に終わりました。

通席、市民の負担増になる案例改正案は、改選後すぐの議会には、出さないんだそうですが、今回、市長は2つも出してました。去年、あれだけ反対が多かった福祉手当削減の条例案と新総合体育館の利用料値上げの条例案です。4期目当選を果たした市長の初仕事、市民への負担増と障害者いじめでした。なぜ、こんな急ぐんだ？

最終日の7月8日は、たくさんの方が傍聴に来てくださったって、私が読み上げた福祉手当削減に対する反対討論の時は、議員が示した対応から、共産党議員の頑張りがありました。

市民の声を力に住民よ流山市のために力を尽くします。

植田

こんにちは 植田和子です ☎☎☎☎☎



7月11日に小池晃参議院議員を迎えて演説会

新議員市民の願いに応えず 6月議会

流山市6月議会が7月8日に閉会しました。福祉手当削減や市民総合体育館の利用料金値上げの条例案が可決され市民の暮らしに追い打ちをかけます。

市民の願いに背を向けた議会の賛成・反対は下記の通りです。また「違憲」であると告発する憲法学者や各界の要人、婦人・学生などが行動し始めています。安倍法案慎重審議の意見書も



7月10日江戸川台駅で「戦争法案に反対する」横断幕を掲げ行動し署名を呼びかける植田和子市議

「安倍法案慎重審議の意見書」

- ◆福祉手当削減の条例案 22対5 可決 <敬称略>
反対:日本共産党4人(乾紳一郎、小田桐仙、徳増記代子、植田和子)社民党の阿部治正
賛成:流政会8人(森亮二、青野直、笠原久恵、野田宏規、近藤美保、大塚洋一、坂巻謙一、石原修治)自由民主党4人(中川弘、加藤啓子、中村彰男、根本守※海老原功一は議長のため、同数以外は議決には加われない)新風流山5人(藤井俊行、西尾段、森田洋一、楠山栄子、西川誠之)公明党4人(秋間高義、斉藤真里、野村誠、戸辺滋)菅野浩考(元みんなの党)
- ◆陳情 安保法制の撤回を求める意見書提出を求める陳情書 11対15 否決
賛成:日本共産党4人、新風流山5人、社民党の阿部治正、流政会の近藤美保 ※菅野浩考は退席
反対:流政会7人、自由民主党4人、公明党4人
- ◆発議 安保法案の慎重審議を求める意見書 12対15 否決
賛成:日本共産党4人、新風流山5人、社民党の阿部治正、流政会の近藤美保、元みんなの党の菅野浩考
反対:流政会7人、自由民主党4人、公明党4人

植田和子市議
6月議会報告会
7月29日(水)午後3時から
北部公民館 第2会議室 1階
議会の報告と、戦争法案廃案へ国民の命を守る事とはなどお話しします。
お問い合わせをお願いいたします。

「国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある事態」には集団的自衛権を發動して戦うのだという。これが政府の聞き飽きたセリフだ。逆にこれは、安倍政権と闘う働く国民の言い分として投げ返したい▼安保法制でそのデータもさながらわなくなった安倍内閣。こんな輩に国の政治を任せてはとんでもないことになる。九条が危機であるばかりではない。「国民の生命、自由及び幸福追求の権利」があぶない。戦争法のどさくさに紛れて与党は労働法制の改悪を強行。労働者派遣法の拡大。これまでに制限していた派遣労働者の年限をなくし、とっかえひっかえ、人を変えて派遣労働者を使い捨てにする法律だ▼まさに会社のパーツとしてしか人を見ない。これが拡大すれば一生派遣で働くことになる。労働は単なる肉体の作業ではない。人は誇りをもって働きたいのだ。会社への愛着も仕事への誇りもなしに働けというのか。これを決めた議員は議員の仕事に誇りを持っていないのだから。

「国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある事態」には集団的自衛権を發動して戦うのだという。これが政府の聞き飽きたセリフだ。逆にこれは、安倍政権と闘う働く国民の言い分として投げ返したい▼安保法制でそのデータもさながらわなくなった安倍内閣。こんな輩に国の政治を任せてはとんでもないことになる。九条が危機であるばかりではない。「国民の生命、自由及び幸福追求の権利」があぶない。戦争法のどさくさに紛れて与党は労働法制の改悪を強行。労働者派遣法の拡大。これまでに制限していた派遣労働者の年限をなくし、とっかえひっかえ、人を変えて派遣労働者を使い捨てにする法律だ▼まさに会社のパーツとしてしか人を見ない。これが拡大すれば一生派遣で働くことになる。労働は単なる肉体の作業ではない。人は誇りをもって働きたいのだ。会社への愛着も仕事への誇りもなしに働けというのか。これを決めた議員は議員の仕事に誇りを持っていないのだから。

「国民の生命、自由及び幸福追求の権利が根底から覆される明白な危険がある事態」には集団的自衛権を發動して戦うのだという。これが政府の聞き飽きたセリフだ。逆にこれは、安倍政権と闘う働く国民の言い分として投げ返したい▼安保法制でそのデータもさながらわなくなった安倍内閣。こんな輩に国の政治を任せてはとんでもないことになる。九条が危機であるばかりではない。「国民の生命、自由及び幸福追求の権利」があぶない。戦争法のどさくさに紛れて与党は労働法制の改悪を強行。労働者派遣法の拡大。これまでに制限していた派遣労働者の年限をなくし、とっかえひっかえ、人を変えて派遣労働者を使い捨てにする法律だ▼まさに会社のパーツとしてしか人を見ない。これが拡大すれば一生派遣で働くことになる。労働は単なる肉体の作業ではない。人は誇りをもって働きたいのだ。会社への愛着も仕事への誇りもなしに働けというのか。これを決めた議員は議員の仕事に誇りを持っていないのだから。

原発から撤退 ただ今原発ゼロ!!